



平成19年7月31日

各位

第一フロンティア生命保険株式会社
第一生命保険相互会社

国内初 生命保険会社による全額出資の生命保険子会社
～第一生命グループ～ “第一フロンティア生命保険株式会社”の免許取得について

第一フロンティア生命保険株式会社（社長：高野 茂徳、以下「第一フロンティア生命」）は、平成18年12月に第一生命保険相互会社（社長：斎藤 勝利、以下「第一生命」）の全額出資により、生命保険会社の設立準備会社である第一フロンティア株式会社として設立され開業準備を進めてまいりましたが、このたび金融庁より生命保険事業免許を取得いたしました。生命保険会社が全額出資の生命保険子会社を立ち上げるのは国内初となります。なお、販売開始は10月1日を予定しております。

第一フロンティア生命は、今後も成長が予想される銀行・証券会社等のチャネルを通じた貯蓄性保険等の販売事業（以下「窓販事業」）への取組みを一層強化するべく、商品供給を専門的に行う新しい生命保険会社として、第一生命グループの総合力を最大限に生かし、お客さまのニーズに対応した商品・サービスをタイムリーに提供してまいります。

<新会社の概要>

- 社名 第一フロンティア生命保険株式会社
(英名: The Dai-ichi Frontier Life Insurance Co., Ltd.)
- 本社所在地 東京都中央区晴海一丁目 晴海トリトンスクエアX棟15階
TEL: 03(6863)6211(代表)
- 役員体制 代表取締役社長 高野 茂徳
専務取締役 上田 實
取締役 池田 眞一
取締役 高久 伸一
監査役(常勤) 早川 尚男
監査役(非常勤) 稲葉 孝宏
監査役(非常勤) 佐藤 紘一
- 設立 平成18年12月1日
- 資本金 500億円
- 株主 第一生命保険相互会社(100%)
- 役職員数 117名(販売開始時における予定)
- 販売開始 平成19年10月1日予定
- 取扱商品 販売開始当初は個人向け年金保険を取り扱う予定

< 第一フロンティア生命の経営基本方針 >

第一フロンティア生命は、“ご契約者第一主義”を創立以来の経営理念とする第一生命のグループ会社の一員として、第一生命の経営基本方針の考え方を踏襲しつつ、次の方針を経営の基本に置きます。

- お客さまやビジネスパートナーを始めとした多くのステークホルダーから、最も信頼され支持される会社となるために、コンプライアンス態勢および内部統制態勢を整備・徹底し、健全かつ持続的な発展を目指す。
- 経営環境の変化とお客さまニーズの進化を先取りし、お客さまにご満足いただける最適な商品・サービスを提供し続ける。
- 迅速・確実・低廉な業務運営を徹底し、経営効率の向上に努める。
- 会社の夢と自分の夢を叶えるために、社員一人ひとりがチャレンジングに行動し続ける。

< 第一フロンティア生命設立の背景 >

わが国の生命保険市場では、少子高齢化の進展による人口構造の変化や、銀行による保険販売の拡大、郵政民営化等に伴い、大きな環境・構造変化がおきつつあります。また、商品分野別では、老後の不安の増大等から年金保険等の貯蓄性保険の契約高が、とくに銀行・証券会社等のチャンネルを通じた販売において高い伸びを示しており、今後も成長が予想されます。

窓販事業は、第一生命の中核事業である、専属の営業職員を通じた個人保険販売、とりわけ、お客さま一人ひとりの生涯設計に基づいた死亡保障保険等の販売事業とは、異なる事業特性を持ちます。そこで、既存の仕組みにとらわれることなく、窓販事業の特性に適合した新しいビジネスモデルを構築し、その徹底を図るために、生命保険子会社として第一フロンティア生命を設立することとしたものです。

< 参考 > 第一生命保険相互会社について

第一フロンティア生命の親会社である第一生命保険相互会社は、日本で最初の相互会社組織の生命保険会社として、明治35年(1902年)に設立されました。創立以来100年を超える歴史の中で一貫して“ご契約者第一主義”の実現を目指しており、日本国内では、総資産、保有契約高で業界第2位の規模を持つ生命保険会社です。

以上